

一般社団法人 三重県作業療法士会 広報誌

OTみえ

No.134

2021.2

NEWS



ZOOMによる研修会を開催

●三重県士会のホームページ [三重県 作業療法](#) で検索

●災害時連絡用メールアドレス mieotsaigai@yahoo.co.jp

contents

【広報部からのお知らせ】

掲載内容について

会員の皆様へ：広報誌への掲載希望、要望についてご意見をお聞かせください。

広報部 e-mail: kouhoumie@gmail.com

【巻頭言】

令和3年度の三重県作業療法士会組織編成について

一般社団法人 三重県作業療法士会 組織部長 牧野有華

【知人 de リンク】

医療法人誠仁会 塩川病院 瀬古拓哉

医療法人主体会 主体会病院 大石野乃花

【施設紹介】

藤田医科大学七栗記念病院 大石明紀、田中雄大

【イベント・研修会参加報告】

認知症スキルアップ研修会に参加して 介護老人保健施設 輝 東 麻奈

「第15回みえ福祉用具アイデアコンクール 2020」三重県作業療法士会賞作品について

一般社団法人 三重県作業療法士会 副会長 佐藤明俊

【各部局、委員、ブロックの活動報告】

運転再開に向けた支援について 運転と作業療法委員会 宮坂裕之

Zoomによる現職者共通研修の運営に携わって 教育部 住田佳緒里

笑顔の花プロジェクト ～つながりの花を咲かせる～「塗り絵はがき」 地域リハビリテーション部 伊藤正敏

【県士会からのお知らせ】

第31回 三重県作業療法学会のお知らせ

選挙管理委員会からのお知らせ

【事務局からのお知らせ】

令和3年度 一般社団法人 三重県作業療法士会総会のお知らせ 三重県作業療法士会 副会長 松本周二

【勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について】

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/study/>

【賛助会員のご紹介】

日本モッキ 〒516-0008 三重県伊勢市船江3丁目17-19 tel.0596-65-6039

https://www.nihonmokki.jp/puzzle_rental/

株式会社システムネットワーク 〒530-0051 大阪府大阪市北区太融寺町2-18 9F tel.06-6364-0529

<http://www.system-network.co.jp/company.html>

田中センイ株式会社 〒541-0055 大阪府大阪市中央区船場中央3-2-8 船場センタービル 8号館 B127号室

<http://www.tanakaseni.co.jp/index.html>

フランスベッド株式会社 〒514-2211 三重県津市芸濃町棕本2020 tel. 059-266-0104

<https://www.francebed.co.jp>

【求人情報】

求人情報の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。 <http://mieot.com/info-cat/job/>

【編集後記】

三重県作業療法士会会員数 673名 施設会員 624名 自宅会員 49名 賛助会員 4社

令和3年度の三重県作業療法士会組織編成について

Topics



一般社団法人 三重県作業療法士会
組織部長 牧野有華

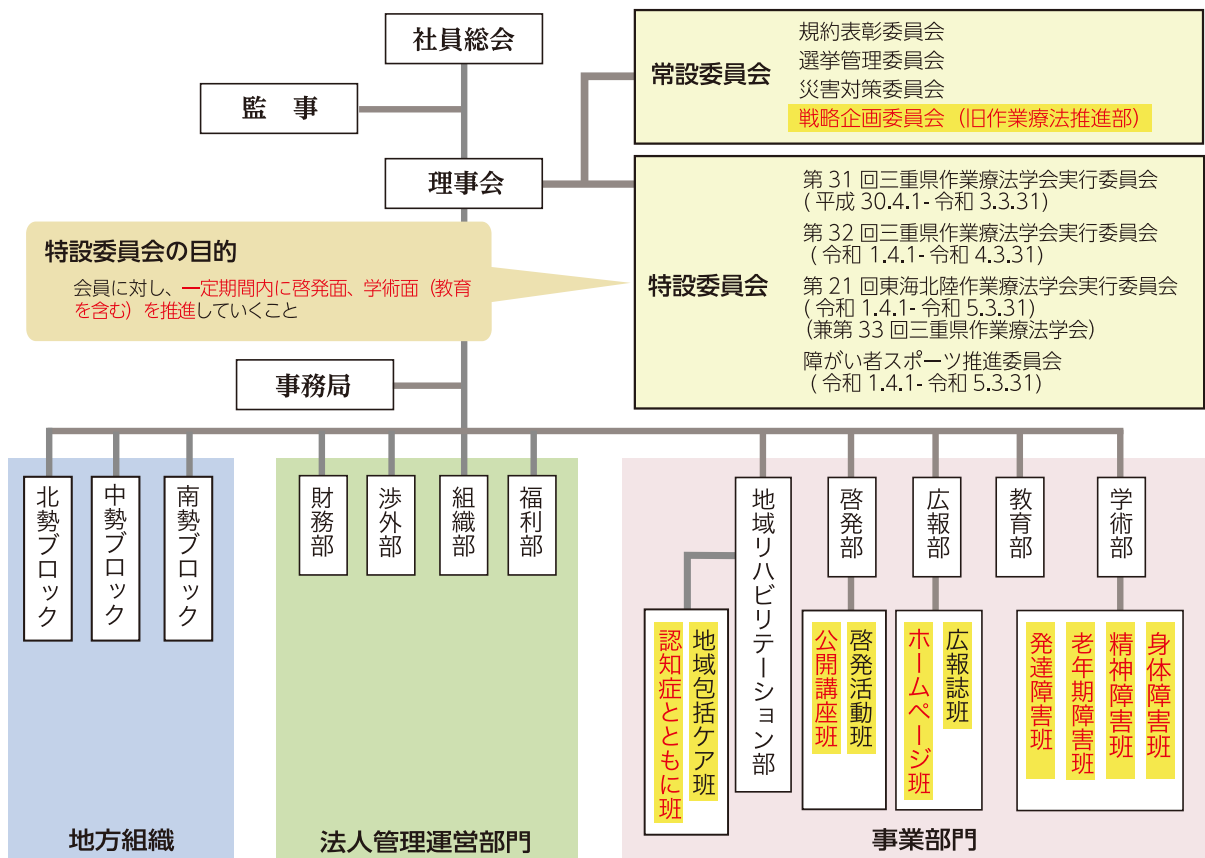
令和2年はCOVID-19が世界中で猛威を振るい、今まで当たり前のようにひとと触れ合いながら過ごしていた生活の変更を余儀なくされました。自分自身の日常だけでなく職場である臨床・教育現場でも急激な変化に伴い、精神的・身体的に負担となった方もいたと思います。中でも“ひとは作業をすることで元気になれる”ということを実感した年でもあったと考えます。

三重県作業療法士会もCOVID-19の影響を受けて今年度の理事会や総会をオンラインで実施し、各部局・委員会の活動も延期・中止したものもありましたがオンラインに変更するなど、その時にできることを考え行ってきました。

このように変化を余儀なくされた年でしたが、これは今まで変えようと思ってできなかったことを変えるチャンスでもあります。三重県作業療法士会は会員の皆様にもっと活動を分かりやすくするため次年度に組織を再編成します。正式には令和3年度の総会で承認を得てからとなりますが、部局・委員会の名称から活動がイメージできることを最優先に理事会で話し合ってきました。

最後に、組織部長として毎年新入会員へのオリエンテーションで話していますが、“なぜ県士会活動が必要なのか”。それは県・市町などの行政、企業や他団体、県民の皆様には作業療法を理解して頂くためです。作業療法・作業療法士という存在や仕事を知ってもらえなければ、職業として必要ではないと思われる恐れがあるからです。この危機感を会員の皆様と共有できればと思います。

一般社団法人三重県作業療法士会 組織図 (令和3年度)



知人 de LINK

医療法人誠仁会 塩川病院 瀬古拓哉

こんにちは。南勢病院の浅沼慎也さんよりご紹介いただきました、医療法人誠仁会 塩川病院の瀬古拓哉です。浅沼さんとは同じ専門学校の級友であり、学校生活の中では多くの時間を共にし、現在でも関わりが深い級友です。ゲームや漫画、アニメ等の趣味活動で共通する部分も多いため気楽に関わることが出来ております。

私は塩川病院に勤めて約2年が経過しましたが、色々な面においてまだまだ知識不足であり学ぶことが多いです。しかし患者様を受け持っている以上は中途半端な治療は出来ないと、自分が作業療法士視点で何が出来るかを日々考えております。先輩方からの指導や自己学習で身につけたことを実践し、それが結果に結びついたときは自信に繋がりますし、感謝の言葉を頂くと「この仕事を選んで良かったな」と実感します。退院してからも通所リハビリやデイケア等で関わる患者様も多く、スタッフも含め多くの方に支えていただきながら毎日充実した日々を送っております。

プライベートでは、家で過ごすことが多くゲームや読書、最近ではプラモデルの作成に夢中になっておりますが、休日に気が向くとガチャガチャや新しいゲーム・漫画を探しに出掛けたりします。元々何かを集めることが好きで特にガチャガチャは現在種類が多く、デザインも可愛い物から面白い物までであるため集めていて楽しく感じます。あと仕事に就いて先輩に誘われたことをきっかけにサバイバルゲームを始めましたが、実際にやってみてフィールドを駆け回る爽快感やチームに貢献ができ勝利へ導くことができたときの達成感があるため、次もやってみたいという気持ちになりました。自分好みのエアガン



を使用できるところも良い点だと思っております。

今回は、専門学校の級友であり気を遣わずに楽しく関われる村瀬病院に勤めている本郷菜々穂さんを紹介させていただきます。よろしくお願ひします。

医療法人主体会 主体会病院 大石野乃花

みなさんこんにちは。私は済生会明和病院の中川真澄さんから紹介を頂きました、医療法人主体会 主体会病院の大石野乃花です。中川さんとは専門学校時代の同級生であり、座学や実技、プライベートなどでも仲良くしていました。

現在、私は四日市市にある主体会病院に勤務して約1年半が経過しました。入社時は同法人の小山田記念温泉病院に配属され、入社2年目の3月から現在勤めている主体会病院へと異動してきました。入社から今日まで回復期病棟を担当しています。

主に脳血管疾患や認知症の患者さんと一緒にリハビリする機会が多く、元々人に興味・関心が持てなかった頃のことを思うと今このような仕事をしていることが信じられず、人生にながめるかわからないと思うことがあります。今は日々自己の勉強不足やコミュニケーションの難しさを痛感したり、リハビリ以外の業務に追われる毎日ですが、仕事をする楽しさを見つけ充実した毎日を送っています。

プライベートに関しては、今年にはコロナウイルスの影響で休日などは自宅で過ごすことが多くなりました。そのため幼少期から趣味で行っていた編物を、高校生以来、久しぶりにまたやり始めました。最近はおさぎの巾着やクマのぬいぐるみ、某有名ゲームのキャラクターなどを編みました。作成中のわくわく感や、でき上がったときの達成感がいい気分転換になっています。



ちょっとしたプレゼントにもなるのでぜひ皆さまにもオススメしたいです。

今回は私の学生時代の同級生であり、ともに勉学に励み、現在もプライベートでよく遊ぶことのある富田浜病院に勤務している佐藤綾香さんを紹介させていただきます。よろしくお願ひします。

施設 紹介

藤田医科大学 七栗記念病院

大石明紀、田中雄大

施設紹介

藤田医科大学七栗記念病院は津市にある病院で、久居インターチェンジより約10分の場所にあります。学校法人藤田学園が運営する病院の一つで、リハビリテーション科、緩和ケア・外科、内科、歯科の4つの診療科があります。また、病院に併設されたデイケアや津市大門には訪問事業部もあり、回復期から生活期を中心とした関わりを行なっています。2018年に現在の名称に変更されましたが、藤田保健衛生大学七栗サナトリウムという名称に馴染みのある方もいるかもしれません。

療法士は、PT46名、OT43名、ST21名が在籍し、回復期リハ病棟、一般病棟、緩和ケア、デイケア、訪問リハのそれぞれで働いています。病床数は218床で、このうち150床は回復期リハ病棟になります。2020年11月には、病院機能評価（高度・専門機能：リハビリテーション）の認定を受け、充実した取り組みが評価されました。一方、津市大門にある訪問事業部は2020年4月より開設し、訪問看護（リハビリ）、訪問介護、居宅介護支援事業所があり、津市大門を拠点に幅広い地域にサービス提供を行っています。

作業療法士の業務

回復期リハ病棟では、他院から転院される患者さんを受け入れております。当院では脳血管疾患の患者さんが多く、全体の7割と大半を占めております。患者さんの症状の回復・スムーズな社会復帰を目標としたFIT programという、訓練室一体型病棟で週7日間集中的なリハビリを実践しております。入院日は作業療法士または理学療法士が評価・訓練を行い、当日に多職種とカンファレンスを行い入院直後からリスク管理等の情報共有をします。必要に応じて入院後1週間以内に自宅訪問を行い、入院早期から退院後の生活を想定したADL訓練の実施をしております。近年は、自動車運転の再開への介入も行っております。当院では、高次脳機能

評価とドライ
ブシミュレー
ターの実施
に加えて、鈴
鹿サーキット



図.1a InMotion ARM



と連携を図り実車運転評価を実施しております。

また、当院では先進的なリハビリ機器（訓練支援機器：図1a,1b）を導入し、より高い訓練効果を実現出来るように取り組んでいます。このように、作業療法士の業務は重急性期のリスク管理から、先進機器の操作、自宅環境の整備、退院後



図.1b 上肢訓練ロボット ReoGo-J

数ヶ月の生活やQOLを見据えた介入など、多岐に渡り、どのタイミングで何をすべきか、常に目標を修正しながら進めていきます。また、津市を中心に回復期リハ病棟から在宅に退院した患者さんと当院のデイケアや訪問リハを利用することもあり、利用後の生活状況を回復期リハスタッフにフィードバックする仕組み（図2）があります。訪問リハでの作業療法士の業務は、利用者毎の生活様式や生活環境が身近にあるため、回復期の業務内容と異なる幅広い視点から生活範囲拡大やQOL向上を提案し、介入します。特に実生活で困っていることがダイレクトであるため、臨機応変で創造的な提案が求められます。

最後に、地域医療への貢献の一環として、七栗リハビリテーションセミナーやがんリハ研修の開催による啓発活動の他、様々な講演会等を地域社会に向けて開催しております。今後も大学病院として最新の情報発信をして参りますので、機会がございましたらご参加いただきますよう宜しくお願い致します。



図.2 訪問事業部から回復期スタッフへのフィードバック風景

「イベント・研修会参加報告 1」

認知症スキルアップ研修会に参加して

介護老人保健施設 輝 東 麻奈

令和2年11月8日(日)午後1時30分より遠隔会議システム Zoom にて認知症作業療法推進委員会主催の「認知症スキルアップ研修会—認知症の人の生活障害・残存能力の特徴とそれを活かした支援—」を開催し、地域、病院、施設、行政、さまざまな領域で認知症の人への支援に携わる多職種の40名の方にご参加いただきました。講師には鹿児島大学 医学部保健学科 作業療法学専攻教授 田平隆行先生をお招きし、田平先生が開発された PADA-D という認知症の人を対象にした生活行為の観察評価指標についてご講演いただきました。講演後はブレイクアウトルーム機能を使用した少人数でのグループワークを行い、オンラインでの多職種交流の機会を設け、この評価指標を臨床でどのように活用することができるかについて意見交換が行われました。

研修会後は TABIRA's カフェと題してオンライン懇親会を開催し田平先生と皆さんと楽しい時間を過ごしました。

終了後アンケートでは感想や次回研修の希望内容など多くの方にお答えいただき、早速使用したい、職場に広めたい、できずに終わっていた項目が細かくどこができないのかまで分析できたなど嬉しい声が聞かれました。

私たちが会える認知症の方は、軽度の段階では金銭管理や服薬管理など細かな生活場面から認知機能の低下が感じられる方が多く、問題解決されにくいことが多いように感じます。これまでの生活を含めその人を理解し、PADA-D を用いて作業分析し介入することで、その問題の解決に繋がられるように思います。また OT だけでなく他職種の方に作業分析の視点を知ってもらうことで、他職種の方でも作業分析が容易になり家族や関係者にわかりやすい提示ができると思われれます。

分析された問題を共有することにより、より良いサポート体制を整えることができます。

ご講演いただいた田平先生、ご協力・ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



田平研究室の HP から



ZOOM オンライン研修に参加された皆さん

[イベント・研修会参加報告 2]

「第15回みえ福祉用具アイデアコンクール 2020」三重県作業療法士会賞作品について

副会長 佐藤明俊

令和2年10月7日(水)、みえテクノエイドセンターで開催されました「第15回みえ福祉用具アイデアコンクール 2020 審査会」の審査員として参加させて頂きました。今回247作品の応募の中から、事前に各審査員が候補5作品、合計25作品を選出し、審査当日に類似品などを除き、最優秀賞含む7作品を決定しました。その中で、私は毎年三重県作業療法士会賞を選出させて頂いております。

今回、三重県作業療法士会賞を受賞されたのは、大野まゆ様の作品「Bijou(ビジュ)」です。

作品は片麻痺、リウマチの女性をターゲットに、メイクポーチに入れても自助具とは分からないような女性らしいデザインをコンセプトに考えられたそうです。また、構造は裏面に吸盤が取り付けられ、机に固定し、蓋を開け、中央の穴にアイライナーのキャップを差し込み引き抜くと、キャップが外れる仕組みになっております。

美容系の自助具は幾つか市販されておりますが、持ち運びの観点からすると少し難しい物が多くみられます。コンパクトで持ち運びが可能、障がいにより化粧を控えてしまう女性にとっては、今回の作品があれば、化粧を再び楽しみやすくなるのではないかと、また気持ちの変化もえられてQ O Lの向上にも結びつくのではないかとという観点から決定させて頂きました。

受賞者には、令和2年11月27日(金)に開催されました「みえ福祉用具フォーラム 2020」にて表彰式が開催され、賞状と副賞をお渡しさせて頂きました。

毎年開催されておりますので、会員の皆様も是非来年は応募してみたいかがですか？

「みえ福祉用具アイデアコンクール 2020」受賞作品および受賞者
<http://www.ztv.ne.jp/mie-tech/2020idea.html>



イラスト:青木双風

受賞作品*みえテクノエイドセンター提供

【各部会、委員、ブロックのイベント報告 1】

運転再開に向けた支援について

運転と作業療法委員会 宮坂裕之

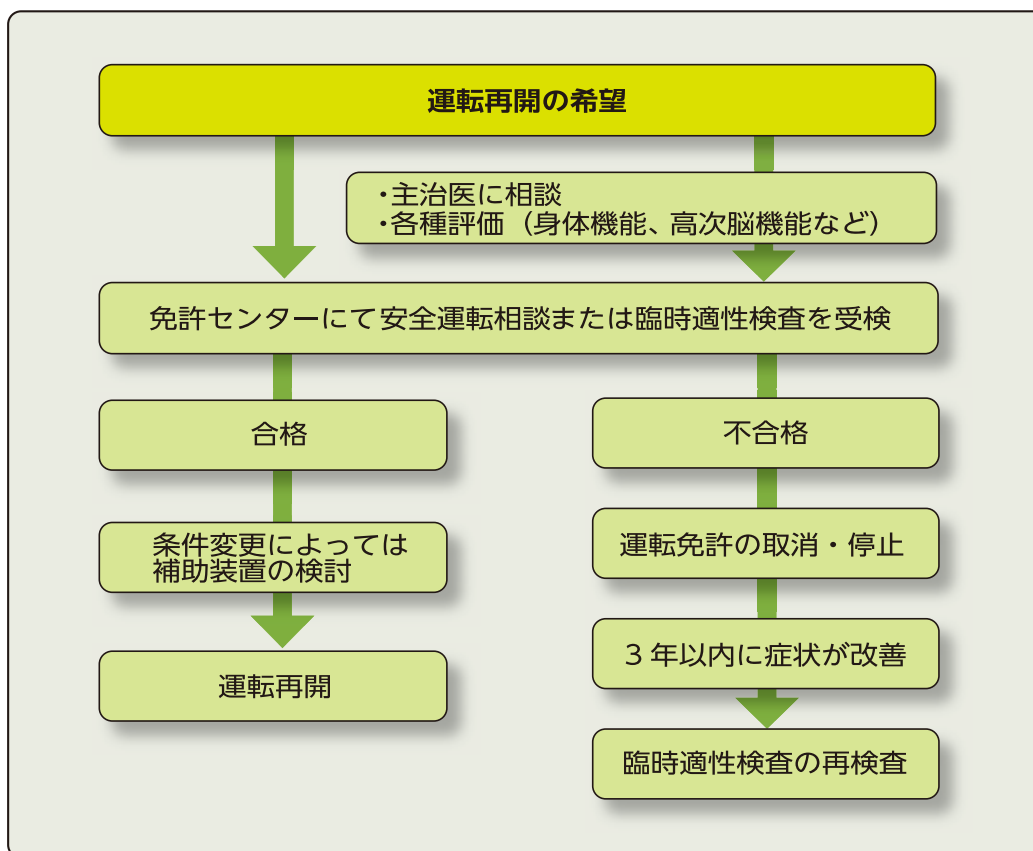
脳卒中や脊髄損傷などの病気によって障害を受け、身体障害や高次脳機能障害を有する方が、社会復帰に向けて運転の再開を要望することがあります。作業療法士として、身体機能や高次脳機能の評価だけでなく、運転に必要な知識を身につけておく必要があります。まずは、道路交通法第103条、90条に基づき、安全な運転に支障を及ぼす疾患を知っておく必要があります。

続いて身体機能についてですが、基本事項として、車への移乗能力（車椅子使用者であれば積み込みができるか）、座位保持能力、視力、色彩識別、聴力、ブレーキの踏み込み、ハンドル操作などが挙げられます。高次脳機能としては、危険を認知して判断できる能力が求められます。一般的には、神経心理学的検査で一定の基準以上の能力が残存してい

る必要があります。

これらの要因に問題がなく、運転再開の希望があった場合、次に指導すべきことは、運転免許センターにて安全運転相談、臨時適性検査を受けることを指導します。受検結果により、運転補助装置の設置などの条件の有無が判断されます。作業療法士として、基本的な運転補助装置の種類は知っておく必要があり、患者様に紹介できるようにしておきます。

これら一連の流れがクリアできた場合に、運転再開となります。しかし、臨時適性検査において、主治医の意見書を求められる場合がありますので、合わせて助言できると良いと思います。運転再開の支援は患者様の社会参加を促進するための一手段になります。まずは、作業療法士が制度的な流れや補助装置の知識をしっかりと学んでおきましょう。



【各分会、委員、ブロックのイベント報告 2】

ZOOMによる現職者共通研修の運営に携わって

教育部 住田佳緒里

令和2年10月25日(日)、11月22日(日)、12月13日(日)の3日間にわたり、現職者共通研修を行いました。本年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点からZoomによるオンライン研修となりました。

オンラインで行う方針が決まったのが8月頃であり、例年よりも取りかかりが遅くなってしまいましたが、今年度中に研修を実施すべく、急ピッチで準備に取りかかりました。準備をする中で、例年通りとはいかないことも多くあり、教育部内で色々検討議論を重ねました。また、事前に研修のシミュレーションも行い、対策を練って当日に臨みました。

当日は慣れない環境下ではありましたが、多くの方に参加していただき、滞りなく研修を終えることができました。また、オンラインならではの、「事例検討・事例報告」では、参加者の皆様から普段より活発な質疑応答をしていただけた印象でした。

個人的な感想としては、集合研修やオンライン研修にそれぞれ長所や短所があると思いますが、“オンライン研修”とい



う新たな切り口が開いたように感じます。

最後に、今回研修会が無事に終了したのも、講師をしていただいた先生方、参加していただいた受講者の皆様の御協力あってのことだと思います。ありがとうございました。

教育部では今後も現職者選択研修やMTDLP研修を予定しておりますので、まだまだ気を引き締めて臨む所存です。今後とも教育部の活動に皆様の御協力の程よろしくお願いたします。

【各分会、委員、ブロックのイベント報告 3】

笑顔の花プロジェクト～つながりの花を咲かせる～ 「塗り絵はがき」

地域リハビリテーション部 伊藤正敏

三重県士会の皆さま、こんにちは。地域リハビリテーション部の伊藤です。

新型コロナウイルスの影響で日常の業務にも大きな変化があったかと思います。我々のクライアントや地域住民の皆様はコロナ禍において活動・参加が狭小化せざるを得ない状況になっています。生活不活発から身体機能の低下の危惧はもちろん、今までの通いの場へ行くことができなくなった方や家族や友人と会うことができず、大切な人とのつながりが希薄化してきていることが心配されます。

そんな中、我々作業療法士もクライアントに直接介入することなく、非接触型の対応をおこなっていかないといけない状況にもなっています。

今回「外出制限中、自宅の中でも楽しめる作業の提供、作業を通して大切な人とのコミュニケーション手段の提供」を目



的に塗り絵はがきを作成いたしました。塗り絵の図柄には三重の名所を準備し、話題の種に活用していただけるようにします。

コロナ禍で「作業療法士として何か出来ることがないかな」と考えている方など、県士会員の皆さまにご活用いただきたいと思っています。皆さんの力で地域につながる花を咲かせましょう。





塗り絵はがき



- ①配布したポストカードを自宅で色鉛筆や絵の具を使用し、自分なりに塗り絵を行ってください。



絵柄面完成イメージ

- ②完成したはがきに切手を貼ってください。宛名面に自名、送り先を記入し、その下には一言メッセージを記入してください。
家族やお孫さん、友人集いの場仲間・スタッフなどに送っていただき、なかなか会えない中でも少しでもつながりを持っていただこうと思います。
- ③完成した塗り絵はがきをポストへ投函してください。



県士会からのお知らせ 1

第31回 三重県作業療法学会のお知らせ

昨年度開催が中止となった三重県作業療法学会ですが、今年度大幅に運営方法を変更し、オンライン学会として開催致します。

- 開催期間:令和3年2月20日(土)～令和3年3月7日(日)
- 開催方法:オンライン学会 (ZOOM and YouTube)
- 学会テーマ:生活を支えるEBOTとNBOTの実践
- 参加費:非会員の作業療法士以外は全て無料
- 内容:一般演題、企業展/専用サイトから上記期間内に動画視聴
一般演題は13題を予定、企業展は5社を予定
特別講演/最終日の3月7日(日)に9時45分～ライブ配信予定

- 講師:井野辺病院 加藤貴志氏「作業療法士による自動車運転支援～研究の進歩と臨床実践～」

学会参加には、事前登録が必要です。当日登録はありません。詳細は県士会ホームページを参照ください。会員の皆様、お忙しいとは思いますが、ご参加の程よろしくお願い致します。

問い合わせ先

学会長:青木佑介 実行委員長:八原大輔
メールアドレス:mieotgakkai@yahoo.co.jp

県士会からのお知らせ **2**

選挙管理委員会からのお知らせ

会員各位

令和3年2月1日
一般社団法人三重県作業療法士会
選挙管理委員長 伊藤 篤史

公 示

定款第30条に基づく令和3年6月6日の役員任期満了に伴い、選挙の管理・運営の手引きに則り、役員選挙を下記の通り公示いたします。

記

1. 役職名と定数
 - ① 理事 3名以上20名以内（代表理事候補を含む）
 - ② 監事 1名以上2名以内
 - ③ 代表理事候補兼理事 1名
2. 理事、監事及び代表理事候補兼理事の選出について
 - ① 理事と監事については正会員による選挙によって直接、選任されます。
 - ② 代表理事については、定款第27条により、理事会の決議により理事の中から選任されます。今回の選挙では、正会員が役員候補者に対する意見を表明する機会として代表理事候補者という形で選出します。
3. 立候補の届出について
 - ① 立候補は三重県作業療法士会の正会員であれば誰でも可能です。
 - ② 役員に立候補または推薦される方は三重県作業療法士会のホームページより必要書類をダウンロードして「選挙の管理・運営に関する手引き」を参照し記入後、選挙管理委員長へ郵送してください。
*必要書類は電子メールでは受付できません。
 - ③ 立候補者及び推薦者代表が選挙公報に意見等の掲載を希望する際はその掲載文を400字以内にまとめ、テキスト形式（word形式）で下記メールアドレスへ送信してください。郵送の場合はCD-Rに保存したものを立候補届けに添付してください。
E-mail: mieotsenkan@yahoo.co.jp 件名:「選挙公報掲載文の件」と明記してください。
 - ④ 告示及び選挙公報掲載文は三重県作業療法士会ホームページに掲載されます。

以上

*立候補及び推薦候補受け付け締め切り：令和3年5月13日（木）必着

*開票の日時：令和3年6月6日（日）

*選挙の方法：本年の総会はwebを使用し開催されるため郵便投票を想定しています。

*開票の場所： 総会会場

届け出先：〒515-8566

三重県松阪市川井町字小望102 松阪中央総合病院 リハビリテーションセンター内

一般社団法人 三重県作業療法士会 選挙管理委員長 伊藤篤史 宛

TEL：0598-21-5252(代) E-mail: mieotsenkan@yahoo.co.jp

事務局からのお知らせ

令和3年度 一般社団法人 三重県作業療法士会 社員総会について

日程：令和3年6月6日(日) 10:00～

場所：未定

開催方法：オンライン形式で検討中

[勉強会 / 研修会のお知らせの掲載について]

勉強会、研修会の詳しい内容は、三重県作業療法士会ホームページをご覧ください。

<http://mieot.com/info-cat/study/>

[賛助会員のご紹介]

日本モッキ

〒516-0008 三重県伊勢市船江3丁目17-19 Tel.0596-65-6039

https://www.nihonmokki.jp/puzzle_rental/

株式会社システムネットワーク

〒530-0051 大阪府大阪市北区太融寺町2-18 9F Tel.06-6364-0529

<http://www.system-network.co.jp/company.html>

田中センイ株式会社

〒541-0055 大阪府大阪市中央区船場中央3-2-8 船場センタービル 8号館 B127号室

<http://www.tanakaseni.co.jp/index.html>

フランスベッド株式会社

〒514-2211 三重県津市芸濃町椋本2020 Tel.059-266-0104

<https://www.francebed.co.jp>

[編集後記]

COVID-19の感染拡大から1年が経過しました。1年前の132号を編集しているときには、ここまで行動制限が延長されるとは想像が付きませんでした。この状況の中、中止になったイベントは多く、当会の活動も試行錯誤を繰り返しながら進めています。

会員の皆様は普段の臨床をどのように行なっているのでしょうか？マスクやフェイスシールドを装着しながらの仕事にも慣れてきました。患者さんや家族もその姿を当たり前のように感じていたり、その姿でないと不安を声にあげるかもしれません。生活・活動を診る我々、作業療法士は、新たな生活様式、ソーシャルディスタンスを見据えた臨床をすることが求められているかもしれないですね。

(編集：宮坂裕之、部局員：伊藤篤史、渡邊 誠、岡田拓朗)

発行所

〒514-1296

三重県津市大鳥町424-1

藤田医科大学七栗記念病院内

一般社団法人三重県作業療法士会 広報部

発行責任者：田中一彦

事務局

〒512-1111 三重県四日市市山田町5538-1

小山田記念温泉病院 リハビリテーションセンター内

一般社団法人三重県作業療法士会 事務局

TEL：059-328-1260

FAX：059-337-9511

e-mail：mieotjim@yahoo.co.jp